

第4回江別市生涯活躍のまち構想有識者会議開催結果（要旨）

日 時 平成28年11月21日（月）14時00分～14時25分
場 所 江別市民会館 21号室
出席者 澤井秀座長、中川雅志座長代理、河西邦人委員、小原克嘉委員、西懸昭子委員、
齋木雅信委員、鴻野徹委員、今田英徳委員、井上智委員、吉川邦俊委員（計10名）
傍聴者 1名

会議概要

1 開会

2 議事

（1）江別版「生涯活躍のまち」構想（案）の検討について

－構想（案） 事務局よりの説明（前回有識者会議での意見により修正した箇所等）－

（澤井座長）事務局より説明のあった構想（案）について、質疑をお願いしたい。

（河西委員）まず、私は構想（案）全体として、良いと考える。ただし、資料41ページ「生涯活躍のまちの展開イメージ」として掲載されている図で、時間軸が「大麻・文京台地区全体のひろがり」で終わっている。先日のシンポジウムの意見には「大麻地区のみが活性化していくのか」というものがあつたが、行政としては、市全体をみて江別版「生涯活躍のまち」構想を考えるべきであり、大麻・文京台地区へ広がった後に江別市全体がどうなるのかというビジョンを、構想（案）で示せるともっと良いものになる。今後、江別市全体に広がっていくということを示せば、市民からの賛同を得られるのではないか。理念は素晴らしいと思うので、江別市全体がどうなるかというビジョンを可能であれば、記載できると良い。

（座長）この有識者会議の中では、まずは大麻地区を優先的に実施することが説明されているが、その後について明確に記載した方が良いという意見である。時間軸の先にどのような展開を考えているかについて、追加してもらいたい。

（事務局）承知した。

（西懸委員）生涯学習の機会が様々な場面であるが、それを知る手立てが整備されていない。江別版「生涯活躍のまち」では、情報共有・提供の手段は整備されていくのか。

（事務局）生涯学習の機会の創出・情報提供に関しては、教育委員会において「社会教育総合計画」を定めている。「生涯活躍のまち」においても、計画の考え方を取り入れながら情報・機会の提供を考えていく。所管である教育委員会と調整して、構想の中にも考え方を盛り込

んでいきたい。

(河西委員)「生涯活躍のまち」に関して、国土交通省や厚生労働省など国のさまざまな補助金があるが、江別市としてどのように活用して市としての財政負担を軽くすることを考えているのか。構想案への記載の有無とは別として、事務局としての戦略があれば聞かせてもらいたい。

(事務局)「生涯活躍のまち」に関して、55 ページに記載のある役割分担のとおり、市の大きな役割は本構想をとりまとめることであり、その後の整備については、事業主体が担うことになる。基本的には、ハードに対する補助を導入するということはない。市としては、今後、事業計画策定について地方創生にかかる交付金が措置されることがあれば、それを活用していきたい。

(2) その他

(事務局) 只今の議事の中で、「生涯活躍のまちの江別市全体への展開」「生涯学習の機会の情報提供」の2点について、検討・修正のご意見をいただいた。どのようにとりあつかうかを確認したい。

(河西委員) 私の発言に関しては、事務局より事務局案を出していただき、座長と調整いただくことで問題ない。座長一任でよろしい。

(澤井座長) それでは、事務局案を示していただき、私が確認の上、各委員には文書で報告したい。

3 その他

(事務局) 次回会議については、1月17日にパブリックコメントが終了した後、2月頃を予定している。改めて日程調整について連絡を差し上げたい。

(澤井座長) 詳細が確定次第、事務局から案内をお願いしたい。

4 閉会